



高梁川流域
CROSSING

くらしき協力隊通信

2024.9 Vol.28

【今年の夏も体験型のイベント開催！】

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の吉田です。

今年の夏は観測史上、最も暑い夏をなりましたが、夏に負けじと猛暑の7・8月に、2度のイベントを行いました。

7月は、体験型の竹を使った1dayキャンプイベント

8月は、竹のおもちゃを作るワークショップイベント

今回も色々と苦労と喜びがありましたので、協力隊通信を通して活動報告が出来ればと思います。

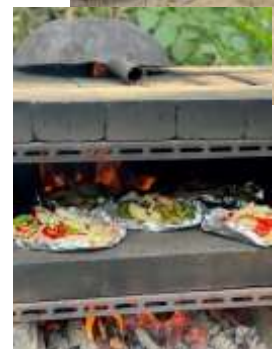


【7月は1dayキャンプ！】

7月は、昨年に引き続き地元の小学生を対象にデイキャンプを開催しました。今回は、全員で約30名以上が集まってくれました。

内容としては、竹炭パウダーを使ったピザの手作り体験や竹の水鉄砲を作るワークショップなど色々子ども達にも好評で大盛り上がりでした。

また、去年参加していただいた方から「今年も特大流しそうめんをやりたい！」とのリクエストがあり、猛暑もあって準備の段階からかなり大変なことはありましたが、無事ケガやトラブルもなく終わることが出来たホッとしております。



【竹炭パウダーを使った新しい試作品に挑戦】

今回は、上記の内容の他にも、サプライズで竹炭パウダーを使った新しい試作品を作ってみました。

それは、「竹炭かき氷」です。

黒いかき氷が出来ればインパクトもあるし面白そうだと考えてチャレンジしてみました。

しかし、氷を作る段階で中々上手くいかず、イベントまでの準備もあって、練習もままならず、氷が上手く出来たかなと思ったのが、イベント直前だったのでぶっつけ本番となってしまいました。

結果としては・・・微妙な出来上がり・・・

ところどころ黒いけど、まだら模様になってしまいました。

それでも子ども達は喜んで食べてくれたので、次回挑戦する時は成功させたいと思います。



【8月は竹のおもちゃのワークショップイベント】

8月は真備町緑化協会竹部会のメンバーと協力をして町内の小学生を対象に竹のおもちゃを作るワークショップを開催しました。

ワークショップでは、竹笛、水鉄砲、竹とんぼ、ペン立てなどの、豊富なラインナップから、作るものを選ぶことができます。

真備町は「竹」が特産品で、昔から様々なことに竹を利用してきましたが、近年、子ども達が竹に触れる機会が減ってきているので、今一度自分たちが住んでいる町の特産である「竹」に触れてもらいたいという思いで、去年に引き続き、今年も開催しました。

しかし、猛暑の影響で、イベント当日はかなり気温が高く、参加人数は思ったより少なくなりました。それでも参加者にはとても楽しんでもらうことが出来ましたし、内容としては充実したものでした。



【編集後記】

今回は、猛暑の中でのイベント開催やその他行事の参加が多かったですが、特に体調不良やトラブルもなく終わることが出来たので一安心しております。

しかし、環境の変化に合わせてイベント開催や内容決めなどを更に吟味していかなければならないと反省することもありました。

今回の反省点を生かしながら、残りの活動に臨んでいきたいと思えます。

倉敷市真備町協力者 吉田

インスタのリンク https://instagram.com/yoshi_masa3?igshid=YmMyMTA2M2Y=



@YOSHI_MASA3